

## 令和四年度 高知市立南海中学校 立志式 式辞

二年生の皆さん、いよいよ立志式を迎えました。南海中学校の三つの校訓の一つに、「立志」があります。立志とは、「志を立てること。将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする事」です。立志式は、日本古来の成人式である十五歳になる年の立春、今年でいうと二月四日に行われていた行事です。大人になるにあたって、将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深めたり、誓いを立てたりする機会とするものです。また、今まで育ててもらった両親や周りの人に感謝するという意味もあります。

皆さんは、令和3年4月にこの南海中学校の門をくぐった日のことを覚えていますか。不安と希望、そして笑顔と期待で中学校生活をスタートさせたあの日から、一年十か月が経ちました。早くも中学校生活三年間の約六割が過ぎ、今年はそれぞれの進路を決める大切な一年になります。

体育祭、最初はタイミングがつかめず苦勞した長縄跳び。声を合わせて一回でも多く跳ぼうと頑張り、当日はクラスが一つとなった瞬間でした。

クラスの団結とプライドをかけて、力の限りを尽くした綱引き。少しでも早くバトンを渡そうと全力疾走したりレー。そのすべてで、二年生は学校の中心となる活躍でした。

合唱コンクールでは、二年生になって一段ときれいなハーモニーと豊かな表現力で、あの三年生を本気にさせる歌声を響かせてくれました。

時間とルールをきちんと守り、コロナを吹き飛ばすほど楽しんだ修学旅行。全員がすべての活動に参加でき、友だちどうしの絆を深めることができました。旅行中の皆さんの笑顔から、中学校最大の行事である修学旅行が最高に充実したものであったことがよく伝わってきます。

そして、教えてもらう側だった部活動や委員会活動・生徒会活動でも、いつのまにか教える側になり、学校の中心となる頼もしい存在に育ってくれています。二年生の皆さん、保護者や地域の方にいっそう信頼していただける南海中学校となるよう、よろしくお願いします。

さて、新型コロナウイルスとの戦いもまもなく丸三年になります。思い返すと、二年生の皆さんは、小学校五年生が終わる直前の令和二年三月初めに学校が臨時休校となり、最上級生となった六年生でも再度の臨時休校となり、結局、五月の終わりまでトータル三か月もの間、自宅での学習となりました。長浜小学校の皆さんは、楽しみにしていた修学旅行も宿泊は叶いませんでした。また、希望を胸に入学した中学校でも、制約と制限の生活が続き、周りの人との大切な時間を十分持つことができないままの二年間でした。

そんな中でも、南海中学校での皆さんは、逆境に負けることなく、友達どうし認めあい、支えあい、学びあって、授業や学級活動に参加することができました。

実際、この二年間、授業や学校行事などで、友達と協力して頑張る姿やお互いに励まし合って最後までやり遂げようとする姿を幾度となく見せてもらいました。このような状況の中で、限られた条件の中で、できる限り精一杯のことをし、また楽しもうとする皆さんの前向きな姿に、いつも驚かされ、感心しています。

また、そのような辛く長い時間を過ごした皆さんだからこそ、家族や友達の大切さや、学校という場で当たり前の日常生活ができることのありがたさ、人とのつながりの尊さを知ることができたのではないのでしょうか。

令和五年、今年は、皆さんはいよいよそれぞれの進む道、進路を決める一年になります。二年生の三学期は、受験生である三年生に向けてのゼロ学期と言われます。これからの二か月は、三年生の四月にいいスタートを切るために、学習や進路選択などの準備をしっかりと整える期間としてほしいと思います。

保護者の皆様、本日は本来の形での式や講演が行えず、本当に残念です。子どもたちは、職場体験や企業見学が難しい中でも、懸命に将来のことを考え、思い浮かべて、この式に臨んでいます。子どもたちがどのような言葉や表現で、自分の将来や夢について語ってくれるのか、楽しみながらお聞きいただきたいと思います。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

令和五年一月二十一日 高知市立南海中学校 校長 廣瀬 啓二